

資料③：平成 27 年度上半期の運行・利用 状況

平成 27 年 11 月

南 城 市

1 平成 27 年度実証運行の概略

- 平成 27 年度は、平成 26 年度の有償運行同様に、一人 1 回 300 円の均一料金による有償運行を行っています。
- 運営体制も平成 26 年度有償運行同様、「南城市シルバー人材センター」にオペレートを、「(株)鏡原第一交通」に運行を委託しています。

表 1.平成 27 年度実証運行の概略

項目	内容
デマンドバスの運行範囲	久高島を除く南城市全域
利用対象	南城市を訪れる観光客及び南城市民（年齢制限なし）
利用料金	一人一律、1 回 300 円（未就学児は無料）
運行形態	ドア to ドア方式で区域運行の「おでかけなんじい」
実験期間	平成 27 年 4 月 1 日（水） ～平成 28 年 3 月 31 日（木）
運行曜日	平日・休日の毎日
運行時間帯	8～21 時
導入車両	10 人乗り 3 台
利用方法	観光客は登録なしで、南城市民は登録制で、利用したい便の 30 分前までに電話にて予約

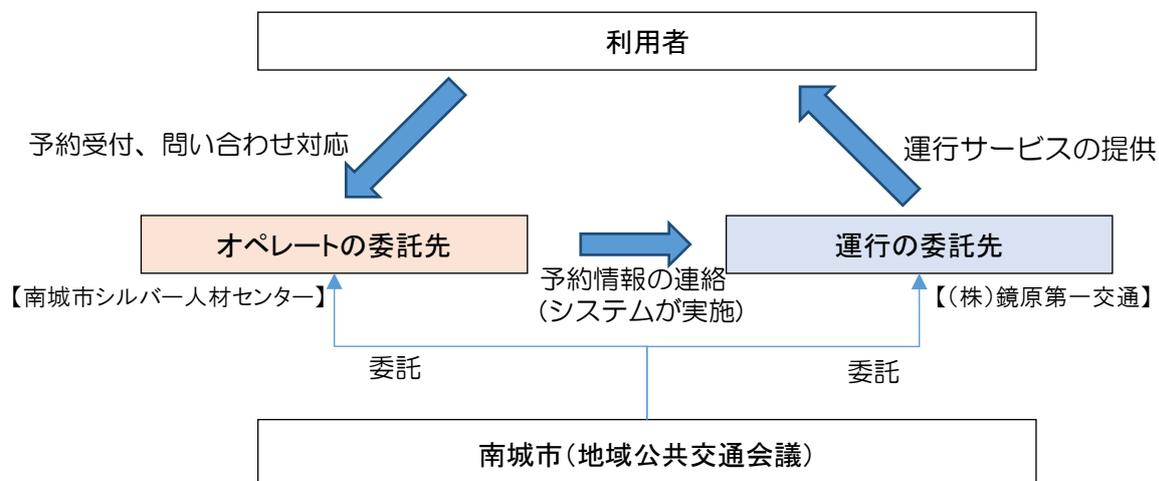
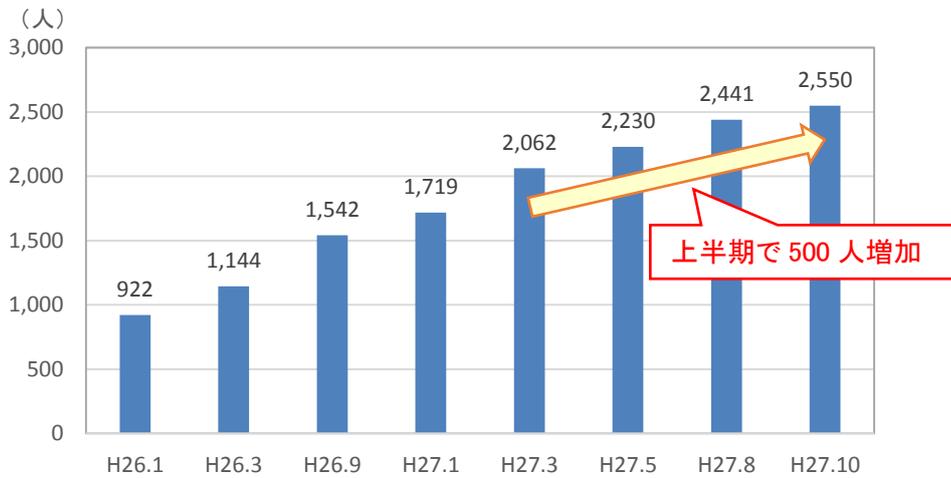


図-1.平成 27 年度の運営体制

2 登録状況

- 「おでかけなんじい」の登録者数は、順調に増加してきており、昨年度末の2,062人から、今年度10月には、2,550人と約500人増加しています。
- 年代別の登録率は、男女ともに「75～79歳」が高く、男性の17.3%、女性の36.4%が登録しています。
- 男女別では女性の登録率が高く、特に70歳以上になると、登録率に大きな差が出ています。



※登録者数は、一人で重複登録されている方も含まれます。

図-2.登録者数の推移

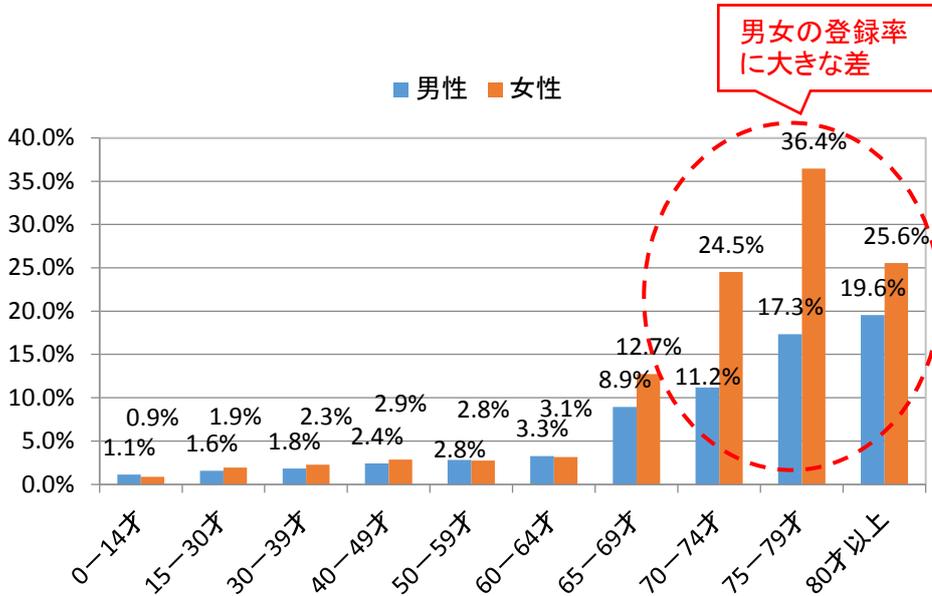
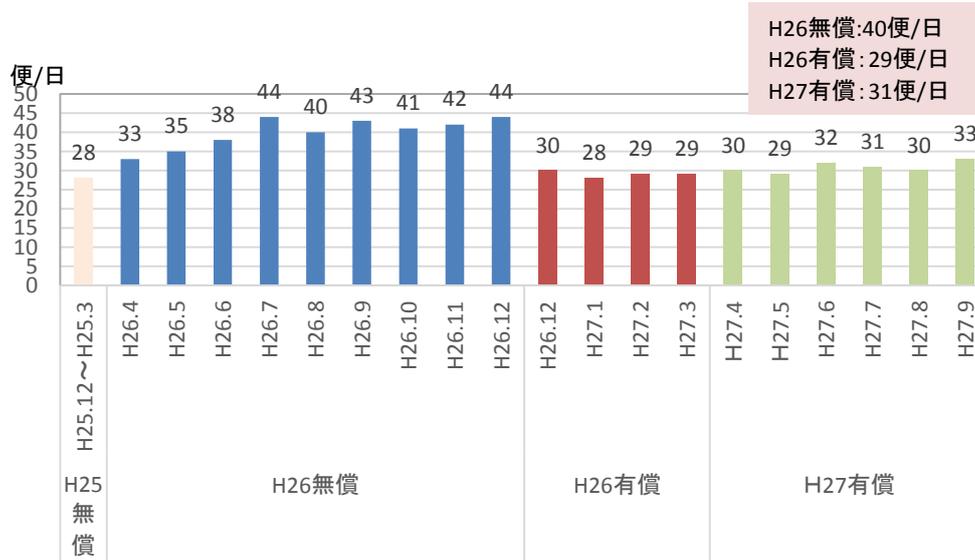


図-3.年代別の登録率

3 運行状況

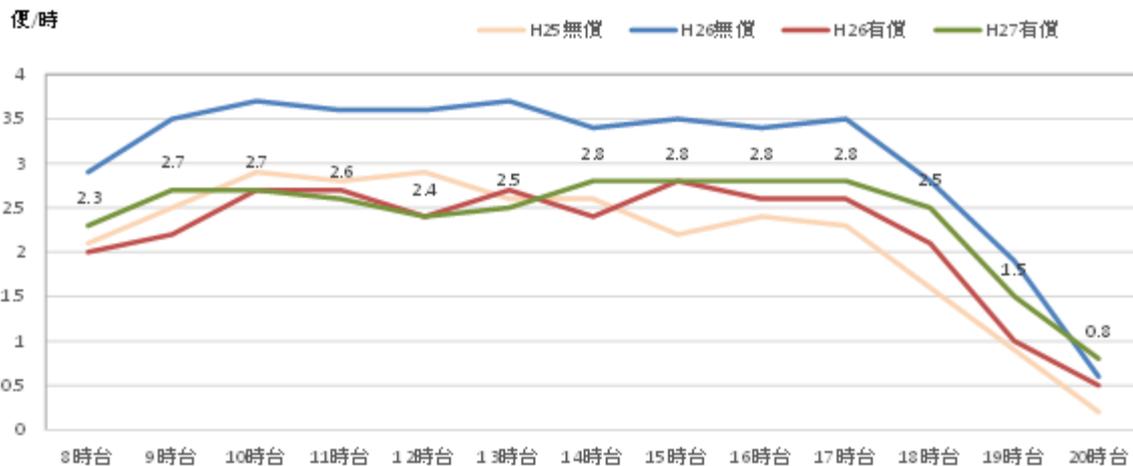
3.1 運行便数

- 平成 27 年度における「おでかけなんじい」の運行便数は、31 便/日と平成 26 年度有償の 29 便/日をやや上回っていますが、大幅な変動はなく、概ね 30 便/日前後で推移しています。
- 時間帯別の運行便数は、9 時台～18 時台は 2.5 便/時運行されており、平成 26 年度に比べると、8 時台、9 時台、14 時台、16 時台以降の運行便数が増えています。



データ:システムデータ

図-4.「おでかけなんじい」の日平均運行便数の推移

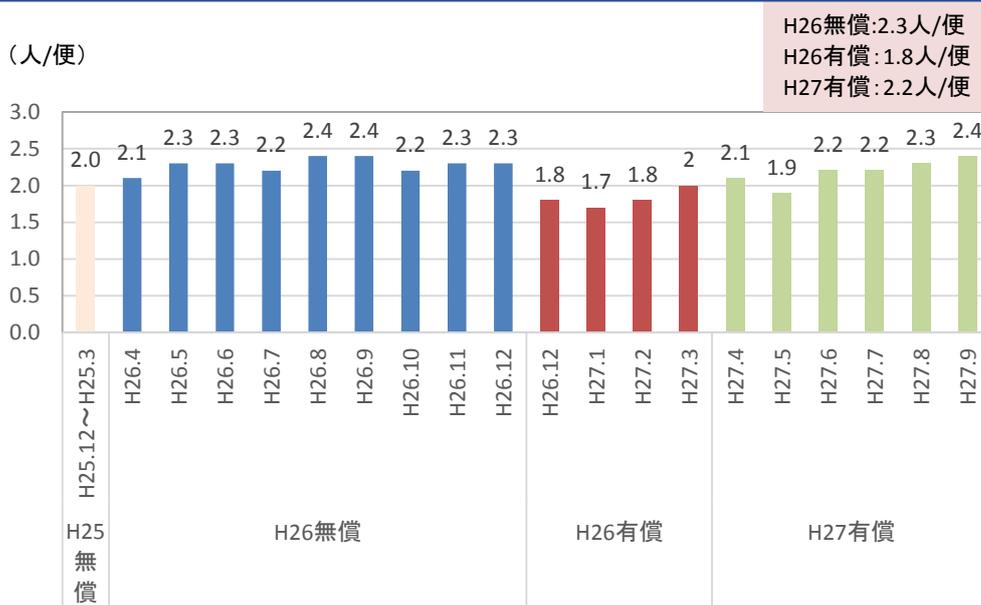


データ:システムデータ

図-5.「おでかけなんじい」の時間帯別平均運行便数の推移

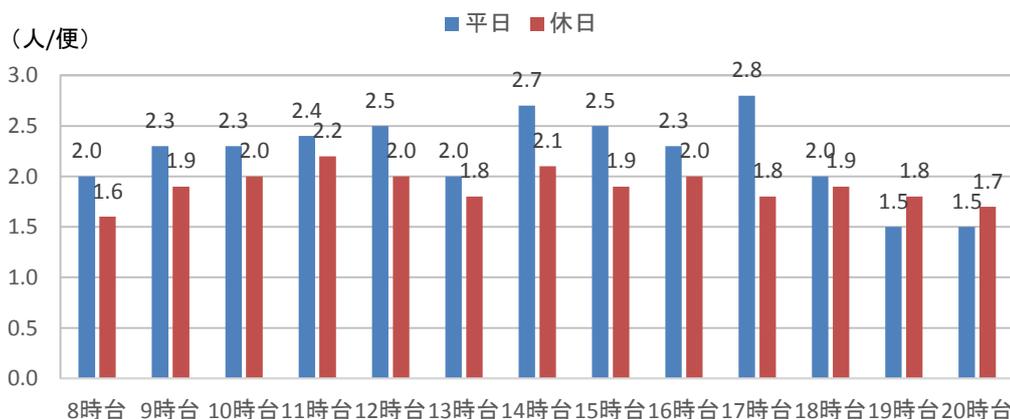
3.2 1 便当たりの乗車人員

- 平成 27 年度における 1 便当たりの平均乗車人員は、2.2 人/便と、平成 26 年有償実験の 1.8 人/便から 0.4 人増加、利用者が最も多かったが平成 26 年度無償実験の 2.3 人/便とほぼ同じ水準になっており、乗車効率が高まっています。
- 平成 27 年度は、平成 26 年度有償に比べ平均乗車人員は増加していますが、平日は 19 時台、20 時台、休日は 10～12 時台、14 時台、16 時台以外の時間帯で、平均乗車人員が 2.0 人/便を下回っており、乗車効率が低い時間帯があります。



データ:システムデータ

図-6.「おでかけなんじい」の平均乗車人員の推移



※休日は、土・日・祝日
データ:システムデータ

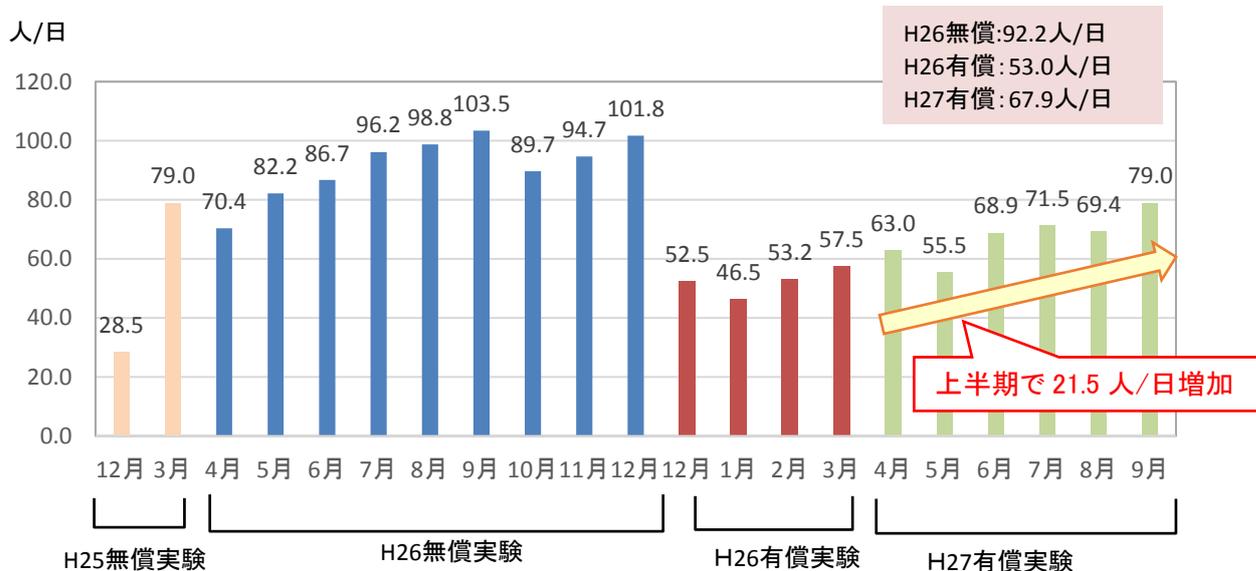
図-7.「おでかけなんじい」の平日・休日別、時間帯別の平均乗車人員

4 利用状況

4.1 利用者数の推移

(1) 概況

- 平成 27 年度の「おでかけなんじい」の利用者数は、概ね増加傾向を示しており、3月の57.5人/日から9月は79.0人/日へと21.5人/日増加、平成 27 年度上半期の平均利用者数は、67.9人/日と平成 26 年度有償実験の53.0人/日を14.9人/日、28%上回っています。
- なお、9月の平均利用者数79.0人/日は、H25 年度無償実験の3月と同じ利用者数となっています。



データ:システムデータ

図-8.「おでかけなんじい」の平均利用者数(人/日)の推移

(2) 平日・休日別

- 平日、休日ともに、平成 25 年度無償実験、平成 26 年度の有償実験の利用者数を上回っており、特に平日は、H26 有償実験の 56.9 人/日から H27 上半期は、75.1 人/日へと 18.2 人/日、32%増加しています。
- 平成 27 年度上半期における平日と休日の利用者数は、平日が 75.1 人/日、休日が 53.3 人/日と、平日が 21.8 人/日多くなっています。

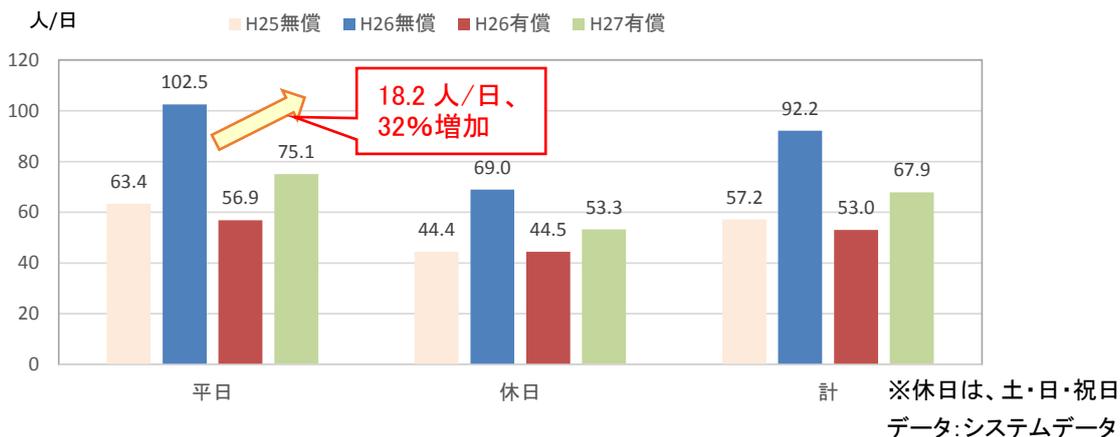


図-9.「おでけなんじい」の平日・休日別の平均利用者数(人/日)の推移

(3) 時間帯別

- 平成 27 年度上半期では、13 時台以外で利用者数が平成 26 年度有償実験より増加しており、特に、14 時台は 4.0 人/時から 7.0 人/時へと大幅に増加しています。

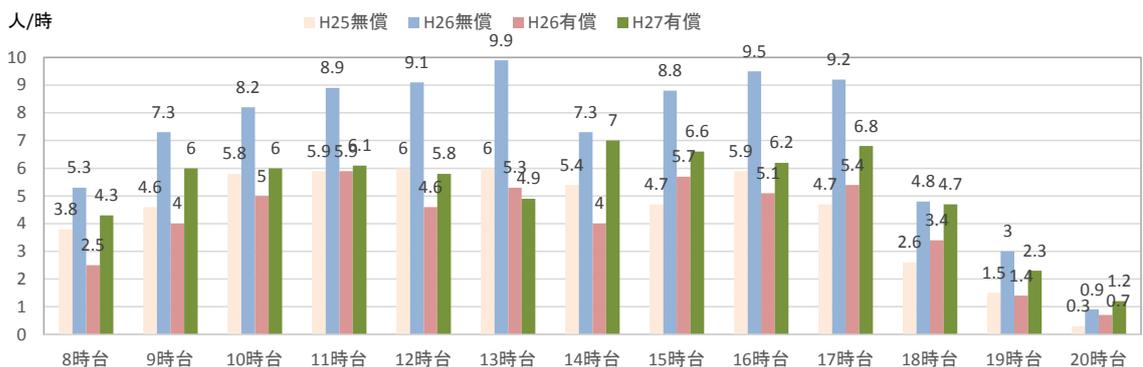


図-10.「おでけなんじい」の時間帯別の利用者数の推移

- 平成 27 年度上半期における平日・休日別、時間帯別の利用者数をみると、すべての時間帯で平日の方が利用者は多く、8 時台～17 時台では、1.6～3.7 人/時と大きく平日の利用者数を上回っています。
- 平日・休日の 19 時台、20 時台及び休日の 8 時台は、平均利用者数が 3.0 人/時未満と少なく、3 便のうちどれかに空きがある状況となっています。

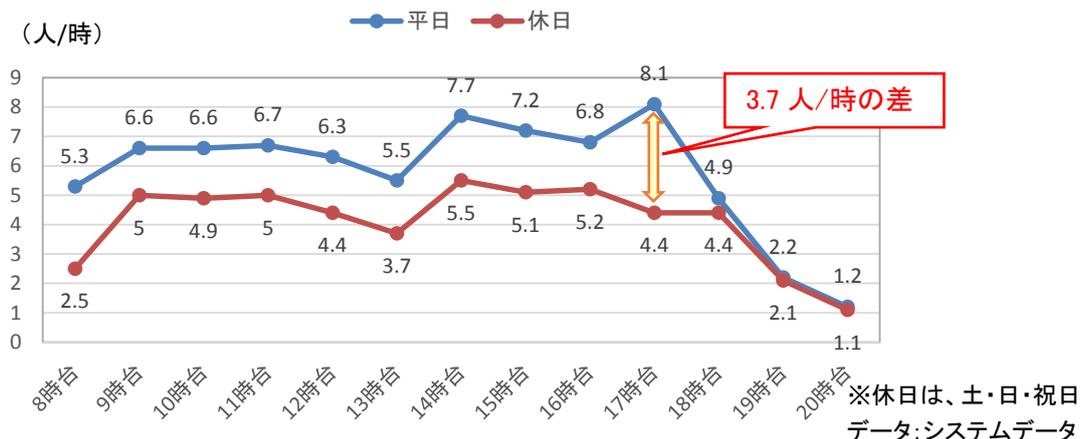


図-11.平成 27 年度上半期における「おでかけなんじい」の平日・休日別時間帯別の利用者数

(4) 観光客

- 季節変動は大きいですが、観光客の利用者数の推移をみると、平成 26 年 12 月の有償化以降、概ね増加で推移しており、平成 27 年 9 月には 10.1 人/日と平成 26 年 12 月の 4.2 人から 2.4 倍に増加しています。
- 8 月、9 月は観光シーズンということもありますが、「おでかけなんじい」全利用者に占める観光客の割合は、約 13%に達しています。

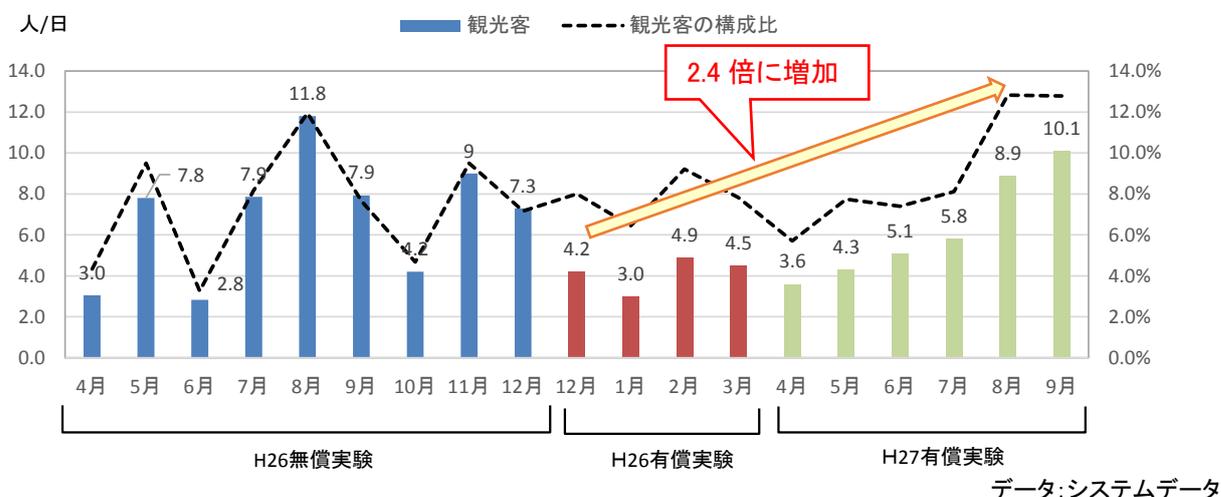
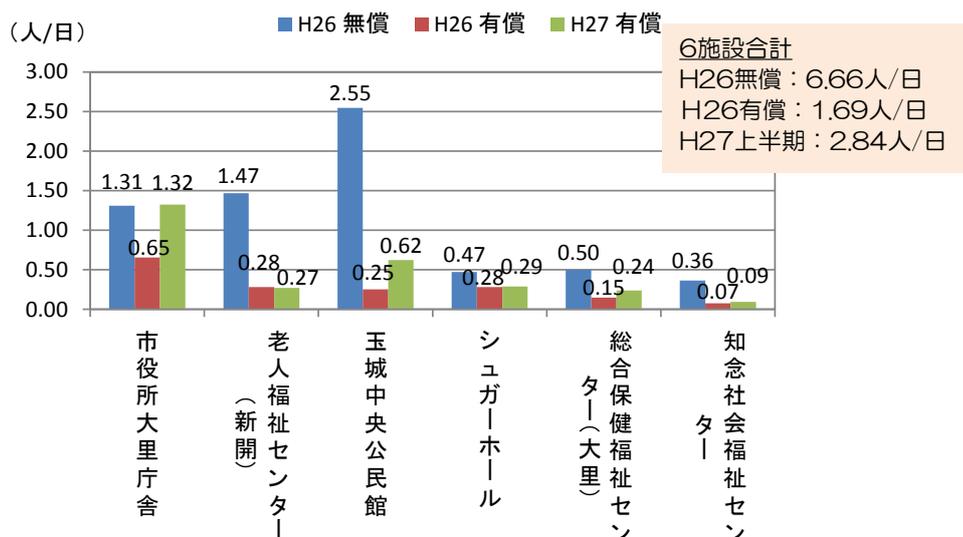


図-12.「おでかけなんじい」利用の観光客数と観光客の構成比の推移

4.2 立ち寄り箇所

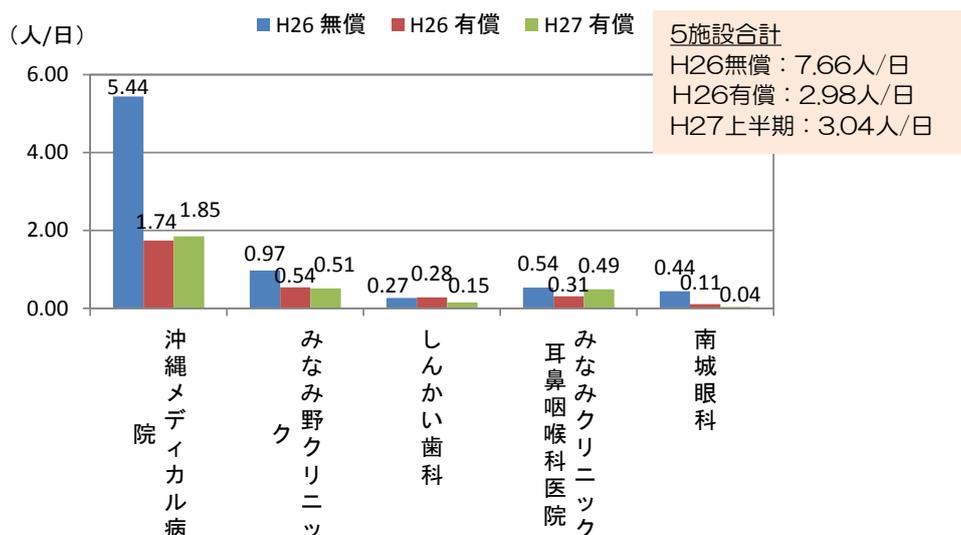
- 公共施設への移動は、「市役所大里庁舎」への移動が 1.32 人/日と多く、H26 有償から倍増、H26 無償とほぼ同じ利用者数となっています。
- 「玉城中央公民館」は、H26 無償から H26 有償に 1/10 へと大幅に減少しましたが、H27 有償では 0.62 人/日と H26 有償から 2.5 倍に増えています。



データ:システムデータ

図-13.「おでかけなんじい」での市民の公共施設への立ち寄り状況

- 医療機関への立ち寄り、H26 有償から大きな変動はなく、立ち寄り先としては「沖縄メディカル病院」が 1.85 人/日と最も多くなっています。



データ:システムデータ

図-14.「おでかけなんじい」での市民の医療機関への立ち寄り状況

- 商業施設への立ち寄りには、5月から無料券の配布を行っている「イオン大里」が2.39人/日と最も多く、H26有償の1.71人/日から0.68人/日増加しています。
- 一方、「ザ・ビック佐敷」は利用者が減少、その他の施設は概ね横這いで推移しています。

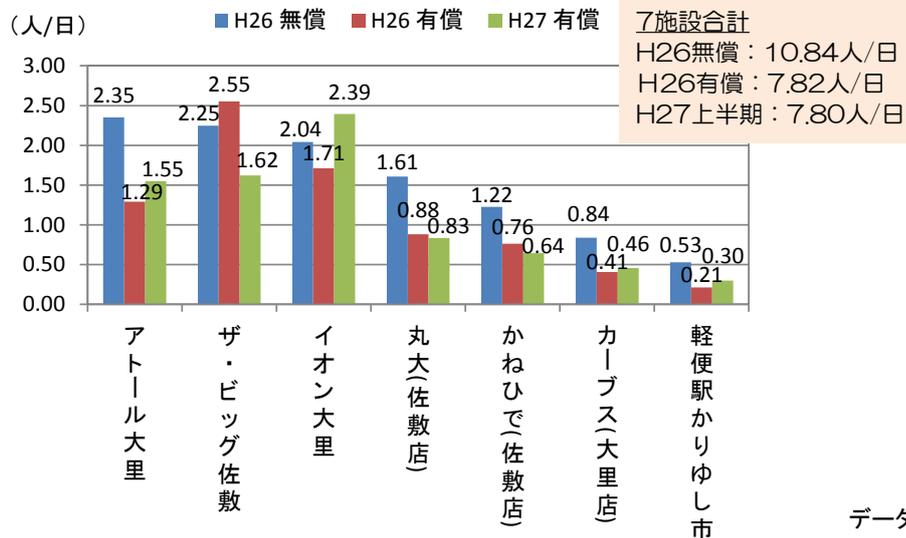


図-15.「おでかけなんじい」での市民の商業施設への立ち寄り状況

- 交通施設への立ち寄りには、利用者数が減少しているものの、「馬天入口バス停」が1.52人/日と最も多くなっています。
- 利用者数は0.48人/日と「馬天入口バス停」に比べて少ないですが、「新開バス停」は徐々に利用者数が増加しています。

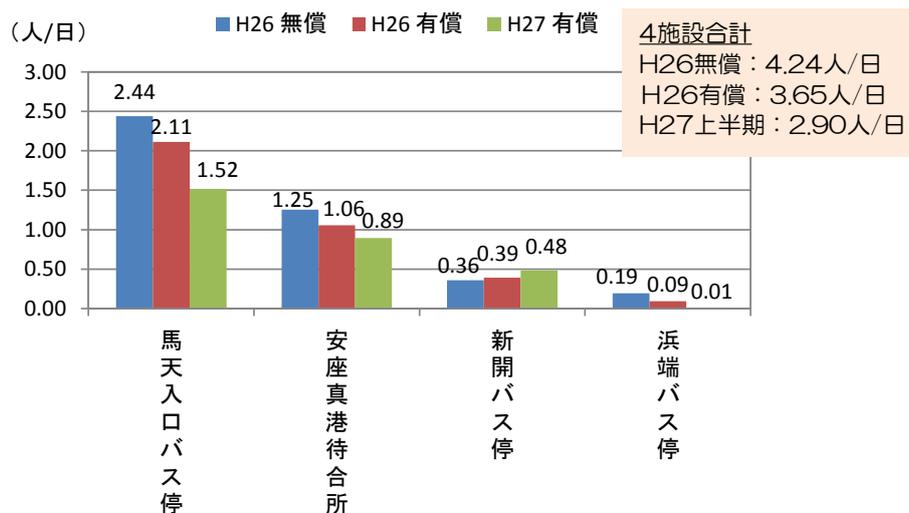
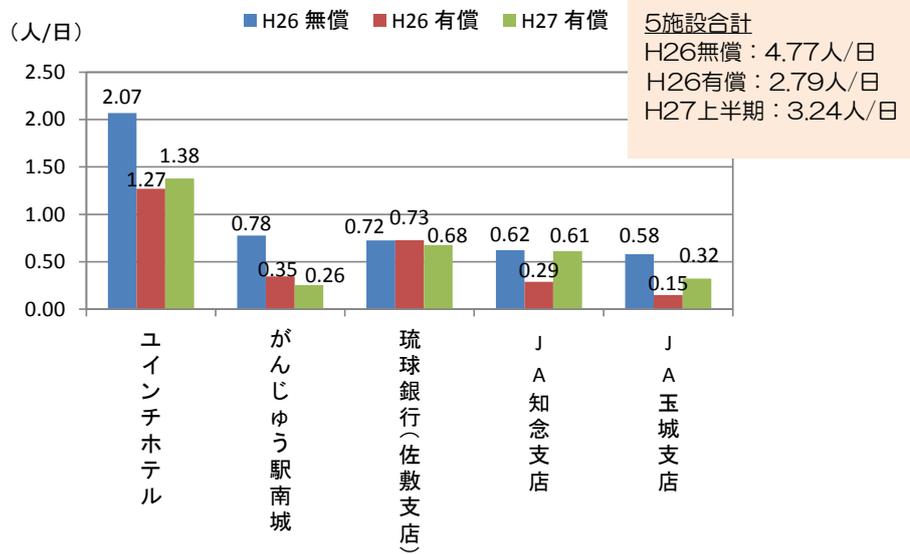


図-16.「おでかけなんじい」での市民の交通施設への立ち寄り状況

●その他施設としては、「ユインチホテル」が 1.38 人/日と利用が多く、「JA 知念支店」、「JA 玉城支店」は H26 有償より利用者が倍増しています。



データ:システムデータ

図-17.「おでかけなんじい」での市民のその他の施設への立ち寄り状況

5 広報の実施

「おでかけなんじい」の利用促進を図るため、ホームページの拡充や、「おでかけなんじい」のラッピング、主要観光地での看板の設置、南城市広報誌への記事掲載などの活動を実施しています。

5.1 ホームページの拡充

- 「おでかけなんじい」の利用促進を図るため、「おでかけなんじい」の利用方法の動画や、活用方法、最新の情報を随時提供するためのツイートなどのコンテンツを整備しています。

(<http://odekake-nanji.jp/>)

The image displays a collage of promotional materials for 'odekake-nanji.jp'. At the top left is the website's main banner, featuring a white van with a cartoon character on top, set against a scenic background of a bridge and sea. Text on the banner includes '300円で南城市内どこへでも' (Anywhere in Nanchang City for 300 yen), '南城市内デマンドバス' (Nanchang City Demand Bus), and 'おでかけなんじい' (Odekake Nanji). Below the banner is a registration box with the heading 'まずは登録' (First, register) and contact information: 'お問合せお申込み先 098-949-1235'. To the right is a red sidebar titled '例えばこんな使い方' (For example, like this usage), listing three user scenarios: a woman (U-Tan) buying a gift, a man (T-Yan) going to a shop, and a man (W-Kan) going to work. Below the website is a Twitter profile for '@odekake_nanji' with 102 tweets and 6 followers. Two tweets are visible, both dated 10/17 (Water) and 9/16 (Water), announcing the start of the demand bus service. At the bottom left is a video player titled '使い方動画' (Usage Video) showing a white van with the text '利用者は予約時間にバスが来るのを待ちます' (Users wait for the bus to arrive at the reservation time).

図-18.「おでかけなんじい」HP

5.2 「おでかけなんじい」のラッピング

- 「おでかけなんじい」の認知度向上や、親しみを持っていただくため、予備車も含めた4台にカラーを変えたデザインラッピングを進めています。



図-19.「おでかけなんじい」のラッピングイメージ

5.3 主要観光地での看板の設置

- 南城市を訪れた観光客への周知を図るため、「おきなわワールド」、「ユインチホテル」、「地域物産館」、「安座真船待合所」の4箇所に、「おでかけなんじい」の利用方法や予約・問い合わせ先などを掲載した看板を設置しています。



図-20.看板設置状況

5.4 市広報誌への記事掲載

●平成27年12月～平成28年3月までの4ヶ月間、南城市の広報誌に「おでかけなんじい」利用者の声を掲載し、利用促進を図ります。

▶運行時刻表

便	受付締切時間
8時便	前日16時30分
9時便	8時30分
10時便	9時30分
11時便	10時30分
12時～13時	昼休み
13時便	12時30分
14時便	13時30分
15時便	14時30分
16時便	15時30分

※土日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は運休となります。

●問い合わせ

地域支援課交通対策係 ☎23-1224

●利用料金

同一エリア内であれば、一回の乗車につき300円まで利用できます。「ふる里タクシー」で移動できる範囲は原則同一エリア内に限りますが、一部地域のみエリアを超えて移動することができます。

●予約受付

▼予約専用電話番号 ☎33・2002
 ▼受付時間 7時30分～16時30分
 ※利用日の2日前（連休日を除く）から予約できます。左の運行時刻表の受付締切時間までにご利用します。

●利用するには…

この「ふる里タクシー」を利用するには、受付、配車業務をスムーズに行うため、事前に利用登録をいただく必要があります。利用登録は、地域支援課または各支所総務課で行うことができます。登録が済みましたら、登録カードを交付します。利用登録は無料です。利用の際には必ず「予約センター」に電話で予約してください。

「ふる里タクシー」のご案内

●「ふる里タクシー」とは…

予約があったときに、予約があった区間だけを運行し、複数の利用者が乗り合いで利用するタクシーです。利用者の玄関から目的地の玄関まで送迎します。

九州北部豪雨災害後も「ふる里タクシー」は休むことなく運行しました。

「大災害で途中の道が寸断された中、迂回しての送迎に感謝しています」

楠アサ子さん
 (古敷岩屋)



一人暮らしで、黒木町中心部の病院や買い物によく利用しています。娘たちも速くに嫁ぎ、用事を頻繁に頼めないで、ふる里タクシーは私の生活の支えになっています。今回の大災害で、途中の国道が通れず困っていた時も、迂回路を2時間かけて送迎していただきました。この山奥では、ふる里タクシーがなかったら生活ができなため、本当に感謝しています。

「利用者の皆さんの安否と生活支援がとても心配でした」



諫山高吉さん
 (星野エリア
 10号車運転手)

災害後、自宅から孤立状態の星野村へ、うきは市経由で3時間かけてやっとの思いでたどり着きました。目を覆うばかりの大惨事に、まず利用者の皆さんの安否と生活支援のため、四輪駆動車で家を回り、走行ルートの確認など、車庫に泊まりこんで対応しました。この非常事態だからこそ、いつも利用してもらっている利用者の皆さんの行動パターンを大事にしながら、ふる里タクシーにしかできない支援を肝に銘じ、毎日奔走しています。

八女の病院への通院に、バス停まで妻といっしょによく利用しています。電話予約は、予約センターの対応が親切なので、いつも私が担当しています。今回の集中豪雨で星野村が孤立状態になったときは、息子の運転で八女の病院まで2～3時間かけて、やっとの思いで行きました。しかし、仕事のある息子にはそう頻繁には頼めないと困っていたところ、ふる里タクシーの運転手さんから「運行している」といううれしい連絡があり、早速、診療所まで利用しました。非常時にも、柔軟な運行ができるこのふる里タクシーが、いつまでも続くことを祈っています。



黒谷典正さん・キリエさん
 (板屋)

「夫婦で利用していますが、安心して暮らせる地域交通の主役です」

「家族のお見舞いに利用しています」

橘瓜悦子さん
 (西唐人町)



黒木

「畑(菜園)まで利用し、帰りに地元のパワーをもらっています」

宮園 明さん (西桑原)



「ふる里タクシー」利用者の皆さんの声です

矢部



田嶋ヤスコさん・郷原恒美さん・姫野英子さん・若杉エミ子さん (竹原)

「診療日にあわせて竹原地区のみんなで利用しています」



中村スマ子さん・石原マルエさん・森トヨ子さん (前川内)

「買い物に利用しています」



野田フミ子さん (尾久保)

「八女や久留米までの通院のためにバス停まで利用しています」

図-21.市広報誌への掲載イメージ(福岡県八女市の例)